

第12回 塩竈市長期総合計画審議会 概要

日 時 平成22年7月29日(木) 19:00~21:00
場 所 塩竈市役所本庁 3階 北側委員会室
出席委員 大滝委員、宮原委員、斎藤委員、丹野委員、馬場委員、北村委員、齋藤委員、板橋委員、阿部(邦)委員、庄子委員、佐々木委員
欠席委員 14名
塩 竈 市 市長、各部長
事 務 局 総務部政策課
司 会 政策事務局

- 1.開 会
- 2.会長挨拶
- 3.報 告 市民懇談会報告・パブリックコメントについて
- 4.審 議 (1)基本構想(案)について
(2)基本計画(案)について
(3)答申(案)について

【市民懇談会報告・パブリックコメントについて】

(会 長)事務局から市民懇談会の報告とパブリックコメントについて話がありましたが、何か意見はありますか。

(委 員)パブリックコメントの実施期間の最終日を書いていないがいつまでか。

(事務局)今月いっぱいということで明日までである。

(会 長)市民懇談会の意見を見させていただいたがとても良い意見だと思う。この意見をすぐ反映させるのは難しいが、ぜひ事務局の方でも考えていただきたい。今のところパブリックコメントがゼロというのは残念だが、塩竈市に限ったことではない。

【基本構想(案)について】

(会 長)先に基本構想(案)について意見を頂きたい。前回11回の審議会において人口フレーム、基本理念の意見をまとめた。本日は前回の意見を踏まえて事務局より説明いただき、基本構想の確認をしたいと思う。

(委 員)4ページの(1)計画策定の趣旨の「多様な担い手が行政と手を携えて～」という所は「多様な担い手と行政とが手を携えて～」という表現にした方が市民協力、そして平等な感じがする。

(会 長)修正案が出ましたがいかがでしょうか。異論がなければそのまま採用とする。

(委 員)まちづくりの目標で1編、2編、3編とあり、章があってそのほとんどが最後にまちづくりという言葉が付いているが、第2編の第1章だけ「産業の活力づくり」になっているのがいかが。なにか他の言葉はないか。

(委 員)ここは別にまちづくりという言葉をつけなくてもいいのではないか。

(会 長)内容を見ると港や商店街の問題があるのでまちづくりといってもおかしくない。

(委 員)まちづくりにこだわらなくて良いのであれば「産業の活力づくり」でいいのではないか。

(委 員)「産業の活性化をはかるまちづくり」はどうか。「活力づくり」だけだと物足りない感じがするので意見が出たのだと思う。

(会 長)「産業の活力づくり」の表現で良いという意見が多いのでこのままにする。

(委 員)目標とする都市像で「おいしさ」というのが出てきている。今回の資料では「おいしい」とか「食べもの」について特にふれていないので、「観光と交流のまちづくり」のところに「訪れた人がおい

しさを気軽に楽しめるまちづくりにします」というものを入れたいかがか。

- (事務局) 今「おいしさ」の部分でふれられていないという意見をいただいた。あらためて見ると指摘された通りなので、入れるよう事務局でも考えさせていただきたい。入れる箇所としては、15ページの第2章「観光と交流のまちづくり」の中に「おもてなし」という言葉があるので、これと合わせて「おいしさ」をこの中に入れさせていただき形で整理したい。
- (委員) 関連ですが16ページに「豊かな心を培うまちづくり」というのがあり、そこにも「塩竈独自の食文化を継承していけるような交流を支援します」と付け加えていただきたい。せっかくおいしさと笑顔がというのを大きくうたっているわりには「おいしい」とか「食文化」がほとんど入っていないのできちんと入れていくべきだと思う。
- (事務局) 食文化の継承という内容ですが、内部でも同様な指摘があった。
- (事務局) 食育の問題につきましては基本計画の第1章「子どもの夢を育むまちづくり」の方で取り上げていたので、そこに合わせる形で入れさせていただきたい。
- (会長) 基本計画の33ページ(6)「食育の推進」という部分にぴったりあてはまるかどうか、入れる場所については少し検討させていただきたい。「おいしさ」「食文化」は基本構想、基本計画にもう少し強調して盛り込むという形でいかがか。
- (委員) 7ページの(1)最後の2行目「ノーマライゼーションの理念～」というのがありますがこれは誰でも知っている言葉なのか。
- (事務局) 確かに専門的な言葉も使用している。現計画も後段で新しい言葉の説明をしているので、製本時に入れる予定としている。
- (委員) 「オンリーワンのまちづくりを望みます」は、基本構想にも「オンリーワンのまち」と書いているが古いので使わない方がよい。進行管理は5年後とあるが、計画が3年単位なのに5年後とは理解できない。
- (事務局) 3年とは実施計画のことを言っている。期間が3年間の実施計画を毎年見直ししながら策定する予定である。
- (委員) 将来人口についての今回の書き方が弱いと感じた。「55,000人を達成するためには、魅力ある都市を目指すことが求められています」とあるが、もう少し危機感を持つ形で「55,000人を達成するためには定住人口増加のための施策を打ち出し、なおかつ魅力ある都市の実現を図っていく」と、この両方をしっかりとつたっていく必要があるのではないか。
- (事務局) 人口の部分については、基本計画の前段部分に今ご指摘いただいた部分を入れる。また、将来の人口についても合わせて手直しする。
- (会長) 地域資源の活用のところ「オンリーワン」に代わるキーワードがあればご意見下さい。
- (委員) 都市像に見合った食文化として、「港、魚、おいしい」が街づくりのイメージアップに繋がると思う。
- (委員) 「海・港を」入れて欲しい。「海・港を活かした街」などはいかがか。
- (会長) 食文化や海・港のキーワードを入れて書き換えたいと思う。
- (会長) 基本構想案についていくつかのご指摘をいただいた。意見に関しては最終的には事務局と相談した上、ご意見を反映させています。

【基本計画について】

- (会長) 基本計画案についての説明をお願いします。このような基本計画案でよいのか、何を行おうとしているのかが明確になっているのかどうか意見をいただきたい。全体の構成は問題ないと思うが、構成のあり方、この作り方で良いのか、他の考え方など皆様からご提案をお願いします。
- (委員) 第1章「安心して産み育てられるまちづくり」の9ページに「市民が担うこと」で、我々が子を持つ親とか家庭に対してしてあげられる事しか書いてない。そうすると今の若い親はおせっかいと感じることになる。若い親が子育ては自分達だけで出来ることではないので、地域の支援体制を受け入れるという意識の改革が必要ではないか。
- (会長) 若い世代への教育が盛り込まれていないとのことですが。

- (委員) お姑さん達がいかに若い人達に手をかけ声をかけるか、若い人の意識改革ではなくて、声をかける側の勉強が必要なのではないか。
- (委員) 「市民の担うこと」の言葉はあるが、「役所が担うこと」の言葉がないのが気になった。
- (会長) 「市民が担うこと」という表現はいかがか。書かれている事は悪くないと思いますが、引き離された感じがする。
- (委員) 以前、この計画は役所が作るものでも市民の目線で市民が担う計画との話を聞いた。しかし、パブリックコメントの意見がゼロなのは市民が関心を持っていない現れである。長年、長期総合計画を作成しても関心を持つ市民が育っていない。役所が市民を育てる方法を作らないと無駄な計画書になる気がしてならない。
- (会長) 審議会の中で、「市民も自覚と責任を持っているんな事を行わないといけない」、「協働してもうまく行かない」との議論がたくさんあった。
- (委員) 今回のもう1つ大切な部分は、市民力を構想の中に使用しており、この言葉をいかに活かしていくのか苦心されたと思う。市民も何をして良いのかわからない部分で、市民力を高めるためのひとつのサジェスションとして、「このようなことができます」という表現をすれば、例えばこのようなことで市民力が高まります、と示せると思う。
- (委員) 文章として市民力を目指してと言っているのであれば、「市民力を高めるために私たちができること」と言葉を替えた方が良い。
- (委員) 計画の最後にこの言葉を入れてくれた行政がどれだけ市民に期待し、共にまちづくりを行っていくという思いが強く現れていて嬉しくなった。いろいろ意見が出ていたが、言葉の表現が軟らかくなれば良いと思う。
- (会長) 目標指標だが、8ページで代表的な目標指標が2つ挙がっている。指標を設ける事は良いことだが、10年後の目標について数値を使わず矢印で表す意味がわからない。3年ごとに目標を具体的に指標でチェックすることによって目標の進行度を確認するのか。
- (事務局) 前回の計画では数値目標は定めていなかったもので、今回はある程度数値目標を出すべきとのご意見があった。それを踏まえ、数値目標を定めたいと考えておったが、数値で目標指標を定める難しさを感じた。ここに入れられる目標として求められるものは、市民の満足度ではないのかと考えられるが、満足度を現時点では把握していないため、それを目標にすることは難しい。それで一般的に統計上把握できる数値をそれぞれの担当部で検討し、目標指標項目として表した。また、具体的な目標数値の設定が難しかったため、方向性を矢印で表した。
- (会長) 直接数字を出すことで数字が一人歩きすることに懸念があるなど理解出来たが、客観的に入手できる数字、データ、統計についてはしっかり目配りしながら、素早く対応処置を取るのは当然の事だと思つので検討してほしい。全てを数字や目標値を体系的に組むのは難しく限界はあると思うが、大枠でも良いので計画を進めていく重要な政策に関する物差しのような物をしっかり持ち、対応していくことが必要である。市の当局としてのスタンスをしっかりと持った方が良い。
- (委員) 具体的な数値で計れるのであればこまめにチェックしながら、目標に向かって自分たちが実行できているのか、しっかり説明できるような指標が必要なのでは。
- (事務局) できるだけ数値を入れて、矢印がどのような方向を目指しているのかわかるような表現にしたいと考えたが、表現しづらい部分もあった。ご指摘の内容については庁内で協議をするので時間をいただきたい。
- (委員) 1つの提案として、この章ではこのような指標が改善や向上のため使われるという代表的な指標を提示してはいかがか。
- (会長) 矢印によって指標を10年後に上げる、場合によっては下げるかを表現することは、方向性の目安を示すという点ではそれなりの意味はあると思う。しかし、矢印の持っている意味とか中身が曖昧で誤解を生む可能性があるがあるので、10年後の矢印については考えていただいた方が良いと思う。進め方の余地を残しておくと言いますが、指標、数値を使うと言っても使い方をもとに工夫するかに

ではもう少し工夫の余地を残しておくやりかたもあると思う。

- (委員) 10年後を矢印で示すのであれば、矢印を文章説明で10年後の目標を作ることはできないか。
- (委員) 14ページで代表的な目標指標になっておりますが、これを代表的な指標にして10年後の目標をカットし、この章はこの指標を重点的にウォッチすることだけ示してはいかがか。上向きの矢印を表す言葉は「充実を図る、育成を図る、推進します」を用いればメリハリがつく。
- (委員) 計画期間10年の間に3年ごとに見直しを行なうと書いてあるが、3年経った時に代表的な目標指標で判断するという事なのか。
- (会長) 指標はあくまでも参考目安である。資料だけではなく他の数値に表れていない政策に関してもどこまで行なわれているかを冷静に見るためのものではないか。
- (委員) 長期総合計画の計画目標は未来に向かって上向きを目指しているのだから、代表指標として役立てることだけを明示すれば矢印はいらない。
- (会長) 目標の大枠の達成度を見るためのものだから、矢印をとっても誤解が発生することも無い。
- (事務局) 数値目標という議論があったので、事務局としては矢印で考えを示そうと考えていたが、ご意見をいただき本部に内容を報告し再整理させていただきたい。
- (委員) 10年後の目標の矢印は取るとして、現状数字はあったほうが良いのでは。見ればいろんなことに気づくことがある。
- (委員) 11ページに代表的指標の中に「日中支援サービスの利用者数」と書いており、説明では日中活動サービスの利用者数と書いておりますがどのような意味なのか。
- (委員) 自立して自分で動けない人達をサポートするサービスを利用した人数である。
- (会長) 基本計画案の位置付けについてだが、基本計画案で何をどこまでやるのか、どう言うことを行っていくかが明確にされていないのではないかと。
例えば22・23ページで「産業の活力づくり」、第2章の「観光と交流のまちづくり」はこれからの10年でとても重要なことだと思う。目標指標を見てみるとほとんど横ばいか右上がりになっているが、どのような根拠で何をやることによって右上がりなのか、WHAT(目指すもの)はわかるが、HOW(どのようなやり方)の部分を確認することが今問われていることである。
これまでの計画でここ何十年出来ていないことが問題である。いかに行なっていくのか途中のステップが見えない。基本計画に掲げた政策の具体的実施方法を示す実施計画の議論についても非常に気がかりである。
- (事務局) 会長からご指摘いただいたように、今日始めてご覧いただいた内容でもあり、ご指摘いただいた部分については、会長のご指摘にお答えするように再整理したい。
- (委員) 構想を作る過程で市民懇談会の各部会を使った。そこから出た意見の中には、計画に正確に落とし込まないといけないものがあった。その意見をどの項目にどう据えたのかという道筋やスタンスをはっきりと示し、構想をどのように推進していくのが盛り込まないといけないのではないかと。
- (会長) 市民懇談会で具体的に産業振興をどのように行おうのかいろいろな提案がでていた。第2・3章は塩竈に重要なところである。やれることとやれないことについて厳しい冷静な判断が必要なのではないか。
- (委員) 人口フレーム55,000人だが、達成に向けた方策が計画で示されているかの確認が必要ではないか。
- (会長) もう1回、皆さんと議論した方が良くと思う。お忙しいとは思いますが基本計画の部分について議論したいと思っている。

今後の日程ですが、8月31日から9月にかけてのスケジュールを考えております。本日、基本計画はじめてとして大変恐縮ではございますが、いただきましたご意見につきましては出来ましたら8月4日までに私どもにお伝えいただければと思います。修正して会議の前にお渡しいたします。日程に付いては2回ぐらいを考えておりますが、最終的には会長と検討して連絡差し上げます。